

益城インター北産業団地のご案内

2025年6月



「住みたいまち、住み続けたいまち、次世代に継承したいまち」を目指して

熊本県益城町は、県中央部に位置し、政令指定都市である熊本市に隣接するという立地特性や、「阿蘇くまもと空港」、「九州自動車道益城熊本空港インターチェンジ」等の交通拠点を有する交通特性を持っており、地理的な優位性を活かし、様々な企業進出や流通拠点が形成しやすい環境にあります。

この度、本町の産業振興における強みを活かし、企業進出の受け皿として本町初となる町施工の産業団地「益城インター北産業団地」の整備を進めています。

本町は平成28年熊本地震において、観測史上初となる最大震度7を2度経験し、甚大な被害を受けたものの、地震からの「創造的復興」に向けて、着実に復興への歩みを進めております。

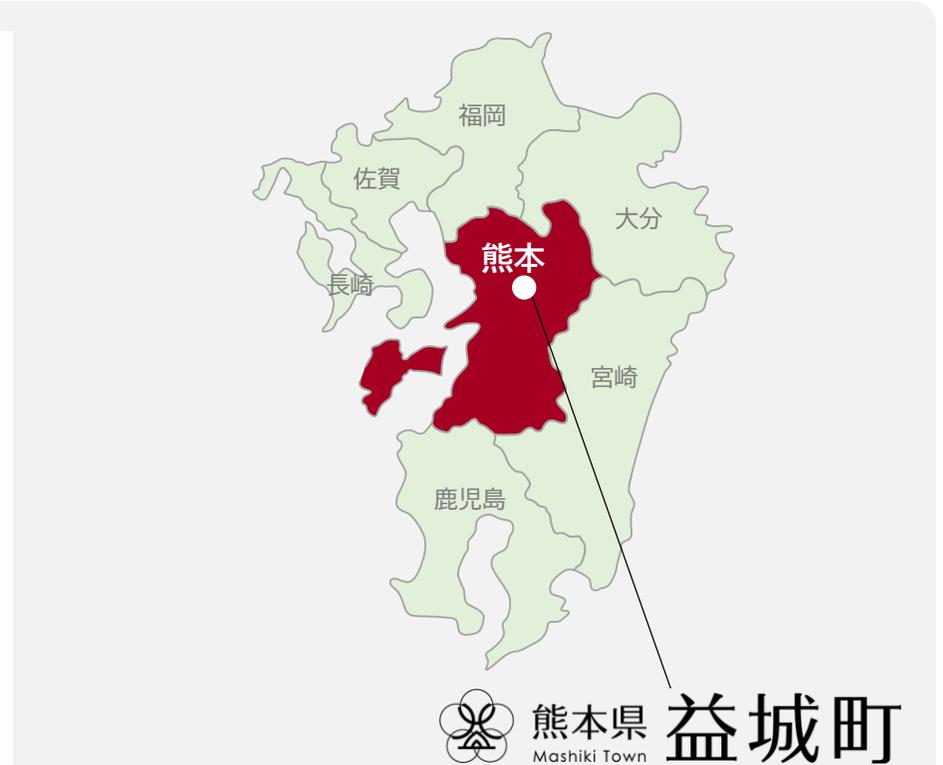
町の「完全復興」、町の将来像である「住みたいまち、住み続けたいまち、次世代に継承したいまち」の実現に向けて大変重要な事業と位置付けておりますことから、是非この機会に本産業団地への立地をご検討くださいますよう、お願いいたします。



益城町長 西村 博則

1. 熊本県益城町(ましきまち)の概要

熊本県益城町は、九州地方の中心である熊本県の中央部に位置し、生産や物流、営業の拠点に最適な場所です。



○熊本から主要都市へのアクセス

国内

熊本～東京(羽田) 約90分
 熊本～名古屋(中部国際) 約70分
 熊本～大阪(伊丹) 約65分

海外

熊本～ソウル 約90分
 熊本～台北 約2時間15分
 熊本～香港 約3時間45分

	益城町	(参考)熊本県
総面積	約65.68km ² (県内34位)	約7,409km ² (全国15位、九州3位)
人口 2024年10月時点	約3.3万人 (県内13位)	約169.6万人 (全国23位、九州2位)

1. 熊本県益城町(ましきまち)の概要

空陸ともに高い交通利便性

<空路>

阿蘇くまもと空港が町内北東部に位置しています。

2023年3月に、熊本地震からの創造的復興のシンボルとなる新旅客ターミナルが開業しました。

2023年9月に、熊本～台湾の定期便の就航、2024年10月にはターミナルビル東側に観光交流エリア「そらよかパーク」が開業し、さらなるにぎわい創出が期待されています。

今後も、「世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイ」として、地方空港No.1の国際線ネットワークの実現が期待されています。



<陸路>

九州自動車道の益城熊本空港IC、九州中央自動車道の小池高山ICがあり、九州全域への円滑なアクセスが可能です。



※時間は、熊本ICまたは熊本駅からの時間

画像出典:熊本県「企業立地のご案内」

1. 熊本県益城町(ましきまち)の概要

ベッドタウンとしての優れた居住環境

<益城町<u>の特性</u>>

政令指定都市である熊本市の東隣に位置し、阿蘇くまもと空港や九州自動車道のインターチェンジを有するという地理的な特性を活かし、**熊本市のベッドタウンとしてこれまで発展**してきました。

<生活利便施設</u>>

復興のシンボルの1つである、県内初の2階建てコンテナ複合施設「**BOX SQUARE マシキラリ**」では、イートイン/テイクアウト飲食店、和菓子店、カフェ等が営業しています。

また、隣接自治体の御船町にはコストコホールセール、嘉島町にはイオンモールといった大規模集客施設が立地しており、様々なジャンルの買い物を気軽に楽しむことができます。

<子育て支援環境</u>>

切れ目のない**子育て支援を行うための拠点や保育園の整備、医療費支援(高校生以下の子ども医療費無償)**等、安心して子育てができる環境整備が進んでいます。

また、大型遊具やキャンプ場を備えた公園も子育て世帯に人気です。



熊本県 益城町
Mashiiki Town



BOX SQUARE マシキラリ 外観



潮井自然公園 大型複合遊具

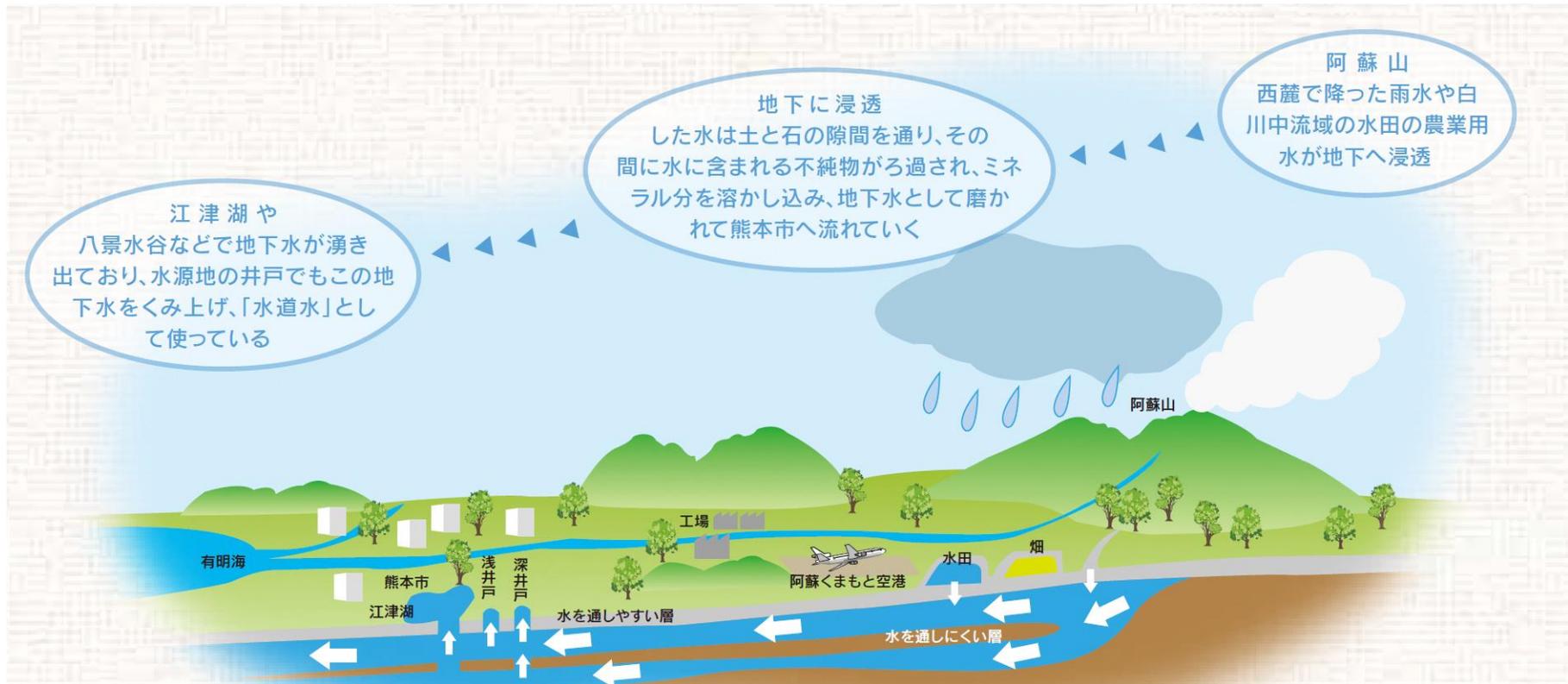
1. 熊本県益城町(ましきまち)の概要

水に恵まれた自然環境

<熊本が誇る地下水>

益城町を含む約100万人の熊本都市圏の生活用水は、**ほぼ100%地下水**。

産業用水にも多く利用されており、**豊富な地下水を魅力の一つ**に多くの企業様に熊本県を選んでいただいております。



2. 益城町の企業誘致

2-1 産業集積の現況

進む産業集積

<産業構成>

益城町の産業は、農林水産業、製造業、卸売業、サービス業等と多岐にわたり、**多様な業種が本町の経済、雇用を支えています。**

町内には、熊本総合工業団地、熊本輸送団地、熊本産業団地等**40以上の企業が集積する熊本総合団地**や、先端研究拠点である「**テクノロジーサーチパーク**」、**県営工業団地である「くまもと臨空テクノパーク」**等があり、多様な産業が集積しています。

<さらに加速する産業集積>

世界最大手の半導体製造企業であるTSMCの菊陽町進出を機に、本町においても**製造業・物流業を中心とした企業進出が増加**しています。今後も、**関連企業の立地による産業の活性化が期待**されています。



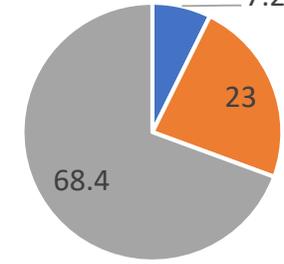
画像出典：株式会社湖池屋HP

(株)湖池屋(スナック菓子製造) 九州初の生産拠点



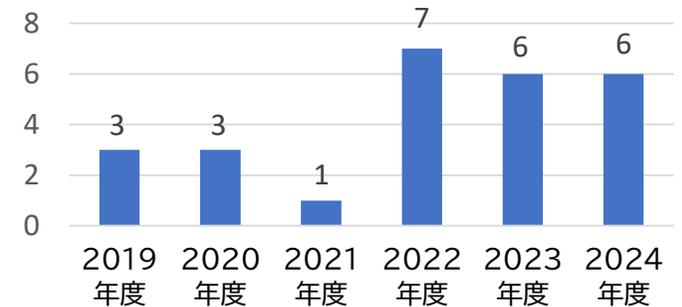
(株)JCUとの立地協定調印式

産業構成(%) ※産業別人口
7.2 (2020国勢調査)



■ 第1次産業 ■ 第2次産業 ■ 第3次産業

立地協定件数(新設・増設含む)



【近年の主な立地協定実績】

2020年:(株)湖池屋(スナック菓子製造)

2022年:(株)ジャパンユニックス(製造機器)

2023年:(株)JCU(半導体関連)

淀川ヒューテック(株)(半導体関連)

2. 益城町の企業誘致

2-1 産業集積の現況

進む産業集積

<主な立地企業マップ> ※製造・物流関連企業を一部抜粋

【①くまもと臨空テクノパーク】

- ・SCREENSPEサービス株式会社(半導体製造装置)
- ・DAIZ株式会社(植物肉)
- ・淀川ヒューテック株式会社(樹脂製品)
- ・株式会社スリーダイン(工業用プラスチック製品)
- ・株式会社JCU(半導体関連薬品)

【②テクノリサーチパーク】

- ・HOYA株式会社(FPD用フォトマスク)
- ・株式会社ジャパンユニックス(はんだ付け機器)

【③熊本総合団地(総合工業団地、輸送団地、産業団地)周辺】

- ・株式会社アミカテラ(プラスチック代替製品)
- ・越智産業株式会社(建築資材卸売)

【④その他地域】

- ・株式会社ISEKI M&D(農業用機械器具) ※④-1
- ・株式会社湖池屋(スナック菓子) ※④-1
- ・日本通運株式会社(運輸業) ※④-2
- ・日精電子株式会社(精密プレス部品・自動化装置) ※④-3



2. 益城町の企業誘致

2-2 さらになる集積に向けた取組み

関連上位計画

第6次益城町総合計画(第2期)

分野別施策における「2-3 企業誘致の推進」において、「戦略的プロジェクト」として「産業団地などを核とした企業誘致の受け皿づくり」を謳っています。

益城町都市計画マスタープラン

益城熊本空港IC周辺を産業的土地利用を図る「新産業拠点」に設定。

阿蘇くまもと空港や周辺市町村等へのアクセス性向上を図り、物流・製造業を中心とした産業の立地を促進するための拠点形成を進める方針としています。

益城町企業誘致戦略2025～2027(第2期)

“重点的に誘致していく領域”として「セミコンダクタ」「モビリティ」等8分野を定め、

「製造・物流等の大手企業の受け皿となる「土地」=益城インター北産業団地の確実な整備・分譲」を、「目指す姿」の実現に向けた取組”の1つとして設定しています。

企業誘致への注力の経緯

熊本地震の発生

震度7が2度町を襲い、人的・住家・インフラ被害が多数発生

復旧・復興事業

公共インフラの復旧と併せて、「災害に強いまちづくり」を目指すために復興事業に着手

企業誘致への注力

「創造的復興」に向けて、企業誘致に注力する一環で産業団地整備を決定

2. 益城町の企業誘致

2-2 さらに集積に向けた取り組み

○益城町半導体関連等企業誘致推進本部

TSMCの熊本進出に伴う関連企業の誘致、雇用機会の拡大及び定住化を促進するため、町長を筆頭とした全庁的な組織となる「益城町半導体関連等企業誘致推進本部」を2021年12月に設置しました。

益城町半導体関連等企業誘致推進本部

【構成】 本部長:町長 副本部長:副町長、教育長 本部員:政策審議監、土木審議監、全課長等
【事務局】産業振興課

産業用地部会

主要課題

- 工場等の立地に適した即応性の高い用地の確保

担当課

- 産業振興課
- 復興整備課
- 都市計画課
- 水道課
- 下水道課
- 生涯学習課

産業団地の
整備に着手

国際交流部会

主要課題

- 海外企業の熊本進出を契機とした国際交流人口の拡大

担当課

- 企画財政課
- 生涯学習課
- 学校教育課

定住促進部会

主要課題

- 誘致企業従業員の町内定住
- 外国人の受入れ環境整備

担当課

- 企画財政課
- 住民課
- 学校教育課
- 健康保険課
- こども未来課
- 福祉課
- 危機管理課

3. 益城インター北産業団地の概要

益城インター北産業団地の予約分譲開始について

町として初の試み

熊本県益城町では、町施工の産業団地「益城インター北産業団地」に立地する企業を募集しています。現在、町ホームページにおいて、分譲要領・提出書類等を公表しており、2025年10月1日(水)より購入申込に係る提出書類の受付開始を予定しています。



※予約分譲の詳細は、右記QRコードよりご覧ください。

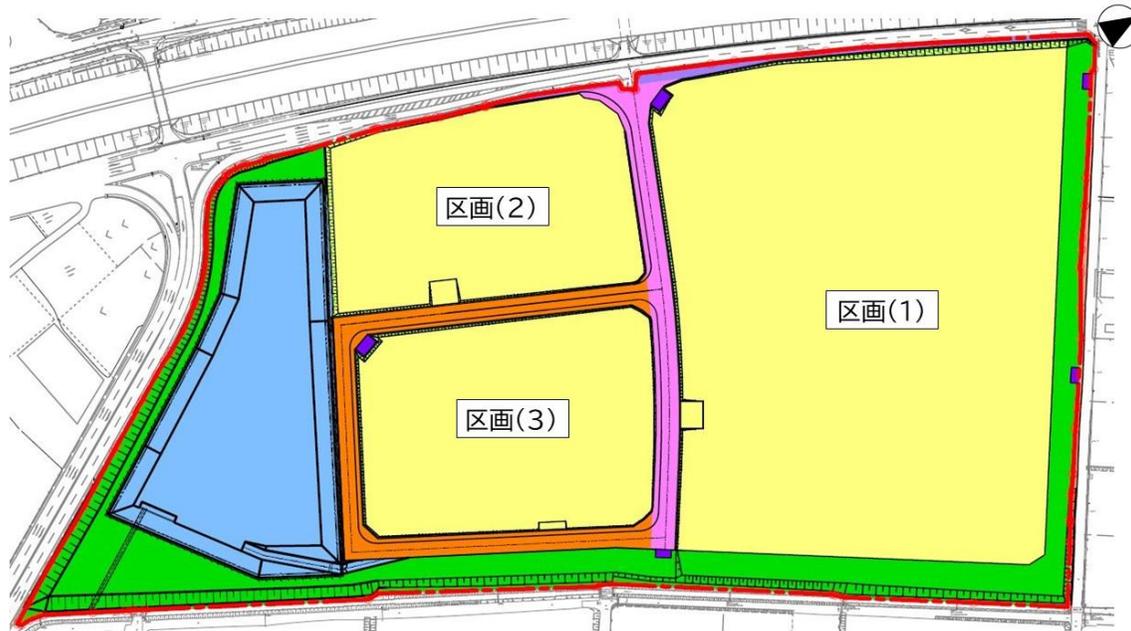
<益城インター北産業団地の概要>

- (1)所在地 益城町大字惣領地内
- (2)総面積 94,362㎡
- (3)都市計画 市街化調整区域
益城インター北産業団地地区計画
- (4)建蔽率・容積率 40%・200%
- (5)アクセス 九州自動車道 益城熊本空港IC 1km圏内
JASM第1工場 約15km(車で約25分)



※「益城インター北産業団地地区計画」に適合した土地利用が必要になります。
 ※角地緩和の適用は別途確認が必要になります。

3. 益城インター北産業団地の概要



<分譲対象施設>

- 製造業施設
- 流通業務施設

【上図中凡例】黄：分譲区画、桃：幹線道路(W=10.5m)、橙：準幹線道路(W=9m)、紫：町道拡幅部、緑：緑地、水色：調整池、濃紫：防火水槽

区画名	分譲価格【概算】	分譲面積【概算】	分譲単価
区画(1)	2,017,263,300円	38,571m ²	52,300円/m ²
区画(2)	600,247,100円	11,477m ²	
区画(3)	650,141,300円	12,431m ²	

※分譲価格及び面積は、予約分譲開始時点の概算値となります。

4. 今後のスケジュール

<分譲要領公表～造成工事完了(予定)> ※予約分譲における詳細は、益城町HPにおいて随時お知らせいたします

分譲要領・提出書類等の公表

2025年6月18日(水)

購入申込に係る提出書類の受付

2025年10月1日(水)～11月28日(金)

選考委員会による審査

2025年12月(予定)

立地内定企業の決定

2026年1月(予定)

立地内定企業との予約協定の締結

2026年4月(予定)

造成工事の完了

2027年3月(予定)

4. 今後のスケジュール

<確定測量～土地の引渡し(予定)> ※予約分譲における詳細は、益城町HPにおいて随時お知らせいたします

確定測量・完了検査の実施

2027年4月～5月(予定)

立地企業との土地売買仮契約締結

2027年6月～7月(予定)

益城町議会での議決(本契約の効力発生)

2027年9月(予定)

立地企業との立地協定・環境形成協定の締結

2027年10月(予定)

土地の所有権移転登記・買戻し特約の設定

2027年11月(予定)

立地企業への土地の引渡し

2027年12月(予定)

5. 企業立地に係る優遇措置

益城町企業立地奨励金 ※熊本県「企業立地促進補助金」「地場企業立地促進補助金」と併用可能

- ◆交付額 (1) 用地取得奨励金: **最高2億円**
- (2) 設備投資奨励金: **最高5,000万円×3年**
- (3) 雇用促進奨励金: **最高5,000万円**

益城インター北産業団地は
製造業施設が補助対象

- ◆対象 (1) 益城町内に工場等新設又は増設
- (2) 製造業、卸売業、小売業、その他地域の活性化を促進すると認められる事業を営むもの
- (3) 町との間に「立地協定」の締結 ※全ての条件を満たすこと

<奨励金の概要>

種類	主な要件	奨励金の額
(1)用地取得奨励金	3,000㎡以上の土地取得 (研究施設2,000㎡以上)	取得額×10%
(2)設備投資奨励金	投下固定資産額が2億円以上	固定資産税額×25%×3年
(3)雇用促進奨励金	(1)(2)いずれかに該当 新規雇用(町内在住者)から1年経過	正社員数×50万円 非正規社員数×25万円

本件にかかるお問合せ先

益城町 産業振興課 商工観光係

担当:澤田、西、原田、桑原

〒861-2295

熊本県上益城郡益城町宮園702

電話 :096-289-8307(直通)

Eメール : syoukou@town.mashiki.lg.jp